



風薫る5月となり、五月晴れの空に鮮やかな鯉のぼりが元気に泳ぐ季節となりました。5月の爽やかな風に誘われて…私!聖隷太郎が訪問した部署は「手術室」です。

手術は患者様の人生の中で大きな出来事(覚悟)です。医師・看護師・看護補助者・クラーク(事務員)・臨床工学技士などの様々なスタッフが「安全・安心な医療・看護を提供する」ことをモットーにチームワークを発揮しています★



手術ホールは、運動不足解消にピッタリ!!
短距離走ができる開放的な空間が広がっています

聖隷富士病院には3部屋の手術室があります。「外科・整形外科・透析科・眼科」などの手術を行い、予定手術以外にも緊急手術にも対応しています。

2024年 4月～
外科医師1名、
整形外科医師1名(5月:整形外科医師1名)を迎え
「One Team(ワンチーム)」として成長していきます!

*手術室での看護師の役割は「器械出し看護師」と「外回り看護師」です。

「器械出し看護師」

手術に必要な物品を準備し
医師と共に術野を見ながら
適切な器械を渡す補佐業務を行っています
ときには、こんなにたくさんの器械を取り扱うことも…!!!

「外回り看護師」

手術室入室から退室まで
患者様の精神的・身体的ケア、
安全に手術が行われるように準備しています



「術前カンファレンス」

手術前の患者様を訪問し、
患者様の思いや身体の状態を共有しています



私たちは医療機器が
安全かつ円滑に使用できるよう努めています!

「臨床工学技士」大活躍★

手術室には2名の臨床工学技士がいます。
医療機器管理と
整形外科・眼科・透析科手術の器械出しを行い
看護師と協働し、チーム医療に貢献しています!

